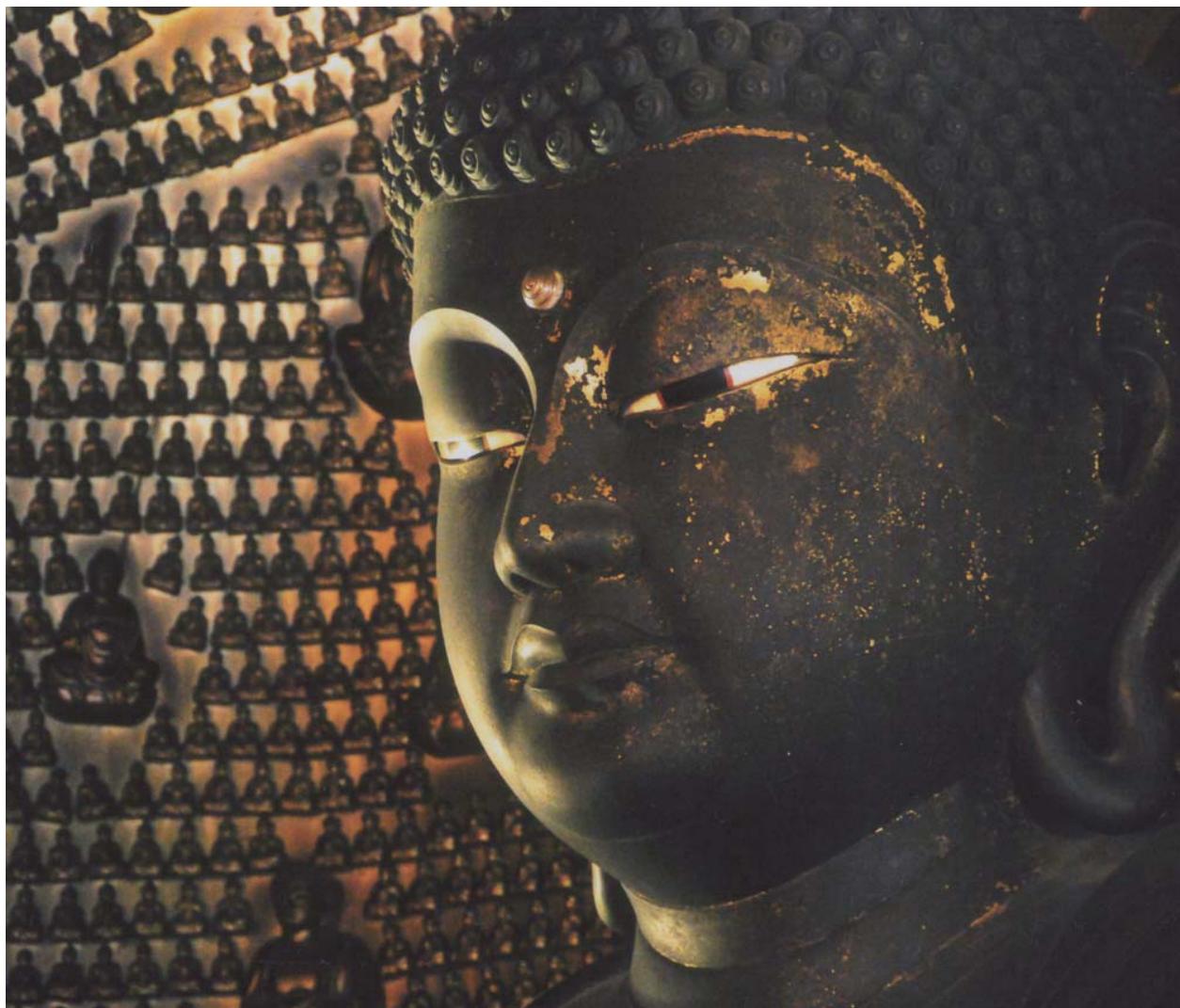


ちかい

2012
正月号 VOL. 133
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺
謹賀新年

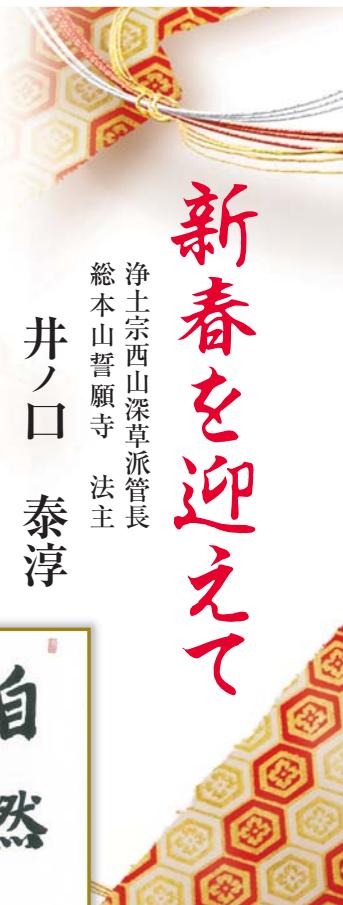


◆ 総本山誓願寺 本尊阿弥陀如来像（写真 鳥山應然）◆

◆ 目次 ◆

- 新春を迎えて
- 慈光（第19回）
- お釈迦さまのご生涯 ⑥
- 賢問子行状記③

- インド ドタバタ夫婦道中記②
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.31
北星山 宝幢院 西福寺



淨土宗西山深草派管長
總本山誓願寺 法主

井ノ口 泰淳

皆様方には御気嫌宜しく御迎春の事とお喜び申上げます。私も老齢ながら唯今の處、日々の法務に励んで居り、有難いことと感謝の日々を過して居ります。

昨平成二十三年は元祖法然上人法爾大師の八百回大遠忌に正當致し五十年に一度の大法要諸行事が盛大に勤まりました。私も大法要導師として親修し、無事円成することが出来ました。五十年に一度の法縁に逢い得て感謝感激の想いあるのみであります。

元祖法然上人の御遺徳は、唯法要をつとめることによつてのみ鑽仰されるものではありません。上人の御教えを心にとどめ日夜その教えを実践することこそ上人の御徳を鑽仰する所以であります。殊に御入寂の直前に御弟子達にお示しになりました「一枚起請文」の末尾の「ただ一向に念佛すべし」の御言葉こそ、人の御教える心髄であると理解しております。善きに

つけ悪しきにつけ、喜びにつけ悲しみにつけ、唯ひたらにお念佛をすることこそが上人の御教える心髄であります。

大遠忌法要を勤めることは勿論大切なことではあります。しかし、その法要は正しくお念佛の縁であります。

大遠忌法要は五十年に一度の御縁であります。御念佛を申すことは日夜絶えることなく続けなくてはなりません。

大遠忌法要を営むに当たり、私の心に深く銘ずるところであり、また皆様方におかげても「ただ一向に念佛すべし」の御言葉を心して実践していくいただきたいと年頭に当たり心より念願致して居ります。

平成二十四年 元旦

總本山誓願寺 法主

彰空泰淳 識

※ 井ノ口法主御染筆の色紙を抽選で1名の方に差し上げます。詳しくはアペルジをご覧下さい。



【佛さまの御花とは】

佛の教えでは供養の品を

五種供養とお示し下されて
あり、水・花・灯・香・供
物の五品であります。昭和
三十年頃までは毎朝佛さま
に日花を供養した檀信徒の
方々もありましたが、寺院
では大変です。

地域的に生花が容易に入
手出来る寺もあれば、降ろ

した「花がら」の処理に困
る寺もあるようで。

私の寺では、

「これは、お寺へ供える花
ですから売れません。」な
どと、お寺へ届ける為に毎
年施肥をする人、毎年芍薬

を育成して下さる人、多く
の方の協力によつてお花を

戴きます。一回に五十本か
ら六十本の花ですから大変
です。

しかし、それが佛さまの
ことだからと当然のように
供養して下さるので誠に
「有難い」の一言です。

その花を、お供えする度
に、普段なかなかやる気の
起こらない本堂の掃除が出
来る私も、歓びが涌いてき
ます。

佛に供える花だから、佛
の方へ向けて供えるかと言
えば、その逆で私どもへ向
けて供えます。

これを「降下相」と申し
て、私どもは知つてか知ら
ずか常に佛さまの慈しみを
頂いているのです。それを

同じ花でも四華花と言つ
て亡者の枕辺に供える白い
造花があります。その起源
は、約二七〇〇年前お釈迦
さまは沙羅双樹の下でご涅
槃に到られました。その時、
沙羅双樹の葉が萎んで葉の
裏の白い部分が現れ、その
教えが今日に到つて四華花
と名付けられたのです。

このように考えると花一
本にも生命があり、佛に供
えた一本一本の花の命、花
を通して私どもを導いて下
さる佛のお心を大切に戴き
ましよう。

このように考えると花一
本にも生命があり、佛に供
えた一本一本の花の命、花
を通して私どもを導いて下
さる佛のお心を大切に戴き
ましよう。

布教講習所 所長
慈光院 住職

鈴木 悟道

お釈迦さまのびき生涯 6

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈



ゴータマに乳粥を差し出すスジャーター

苦行（後編）



ゴータマ（お釈迦さま）は、六年間、苦しい修行を続けました。その結果、体はガリガリにやせ細り、目は落ちくぼみ、立ちあがつて歩くこともできなくなりました。

「ああ、こんな苦しい修行を繰り返し、身を痛めつけるだけで私は覚りを開けるのだろうか。心安らかになれるのだろうか」と毎日考えるようになつたのです。

そしてある日のことです。仲間

が修行に打ち込んでいる時に、ゴータマは彼等から離れ、一人川岸にやつてきて、沐浴を始めました。

乳粥で身と心が癒されたゴータマは、一人静かにアシユバツタの木の下に座りはじめました。

すると川岸に一人の少女がやってきました。スジャーターという名の少女は、やせ衰えたゴータマの姿を見て、そつと乳粥を差しました。スジャーターの優しさに触れたゴータマは乳粥を口に含み、「おいしい・・おいしい・・生き返るようだ」と喜びました。

しかし、乳粥を食べるゴータマを見た五人の修行仲間は「ゴータマは修行をやめやがった。あんなものを口にして・・・」と暴言を吐き、苦行林の奥深くに帰つて行きました。

乳粥で身と心が癒されたゴータマは、一人静かにアシユバツタの木の下に座りはじめました。

賛問子行状記
けんもんしきょうじょうき

小島英裕

は大願を起こしました。

第三話
賢問子、書に渡る

(前編)

賢問子が一刀三札して造つた阿弥陀如来像は、地獄の罪人を救つていただけると近所はもとより遠方からも参詣があり、賢問子と母は喜んでいます。

「人々の信仰が深まつて
きて いるようだ。この技術
を得る ことが できた のは父
のお陰だ。日本の方とはこ
れからも生涯を通じて縁を
結ぶ ことが できる。しかし
唐（中国）へ渡り阿弥陀仏

像を造り、唐の人々にも伝
縁を結んで欲しい」と賢問子

死に別れ、十九歳になるまであなたを育て、器量、人柄も良く、これから人生が充実する頃なのに。荒波の遠い海を渡り唐に行くとは。私も年を取った」と涙しました。

行を積みたいと思います。
一年以内には必ず帰ります。
手紙を書きます。出来るだけ早く帰りますから、どうか願いを聞いてください」

母上、父の技術を引き継ぎ仏師になりましたが、さらに唐に渡り父の追善供

「十一歳の時は出家を諦めましたが父の遺言を無にすることはできません。長くは滞在しません。一年以内に帰ります。どうか許してください」

「あなたの力では唐には渡れないでしょう」と母は泣きながら問いかげます。

り「父の優れた細工はこの鑿のお陰。唐に渡りこの鑿一丁で名を広めてみせるぞ」と誓いました。

「長い海を渡ることは人の力では叶いません。朝夕、春日の社を拝み神様の力を信じなさい。私が生きている間に帰つて来るのだよ」と母は賢問子に別れを告げました。(つづく)



遣唐使船（『鑑真和上東征繪伝』 唐招提寺蔵）

インドドタバタ夫婦道中記 27



東龍寺 住職 岩瀬 賢良

とんでもない失敗

高温多湿の劣悪な条件が揃つたジャングルの中で、石窟寺院がほぼ完全な状態で日の目を見ることが出来たのは、職人と僧侶、そして彼らを支えた民衆のこの上もない信仰の篤さと体力以外、考えられないことだと僕は思う。

入り口から第一窟、第二窟・・・とほぼ順番に並んでいて、第一窟寺院の中は本堂入り口の左に蓮華手菩薩、右には金剛手菩薩が描かれ、奈良の法隆寺金堂内陣の菩薩像の元になっている。特に有名な壁画である。

八九年に訪れた時もたくさんカメラに収めたのだが、今回はデジタルカメラで写そうと思った。ストロボ撮影は禁止されているので、明るい外でストロボを使わない設定にして、電池を無駄遣いしたくないために、一旦スイッチを切つて中に入り再び被写体のもつと使いこなしておくべき

窟寺院がほぼ完全な状態で日曜を見計らい、蓮華手菩薩の全体像をファインダーに入れ、シャッターを押した。

その瞬間、思いもよらずストロボが光ったのである！少し離れた場所で見物客に説明をしていたガイドが、間髪を入れず「出て行け！」と、大声を上げた。僕もすかさず「ごめんなさい！」と大きな声で英語で答え、利子まで連れられて「ごめんなさい！」と反応し、そそくさと第一窟を飛び出したのである。

カジュラホーで寺院の庭を撮影している途中、電池が切れてしまい、ホテルに電池を取りに戻った経緯があり、電池の寿命を心配してスイッチを切つてしまつたのが、間違いの元だつた。設定をして一度スイッチを切ると、元の設定に戻ることが分かつていいなかった自分の責任である。



—蓮華手菩薩—
(アジャンタ 石窟寺院群 第1窟)

だつたと、ただただ反省するばかりだつた。

しばらく外でデジカメの説明書を見ながらじり回した後、気を取り直し僕たちは隣の窟院に移つた。有名な壁画や彫刻のある窟院のためにライトアップしてくれる係員がいて、チップを払うと電球で照らしてくれるので、数ヵ所はそれに頼ることにしてシャッターを押した。所詮あまり明るくない電球の光だし、三脚は使用禁止なので、写す瞬間は息を止めて手ブレを起こさないようにしなければならなかつた。



新京極 誓願寺

平成二十四年二月三日(金)

節刀会

●大般若転読会

午前十時～正午十二時 午後三時～午後四時
※芸道上達・商売繁盛・恋愛成就など仏様に祈願します。

●踊りの奉納

午後一時三十分～

●豆まき

午後二時～

●扇塚法要

※古くなつた扇の供養をいたします。

歌舞の菩薩ゆかりの

新

京

極

誓

願

寺

だより

おもな行事予定

【一月】

- 十五日(日) 六阿弥陀功德田
- 二十四日(火) 法然上人追慕念佛行脚

【二月】

- 三日(金) 節分会
- 八日(水) 六阿弥陀功德日
- 十五日(水) 涅槃会

総本山誓願寺だより



【問題】

沐浴されているお釈迦さまに乳粥を差し出した少女は誰でしょう？その名前をカタカナ六文字でお答え下さい。

○ ○ ○ ○ ○ ○

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺（だんな寺）、感想や質問を必ず書いて送ってください。今回は管長猊下御染筆の色紙を一名、西福寺さまより西福寺特製天女の散華を五名、本山譲製線香を五名の方に、合計十一名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四四一三五二三一

岡崎市藤川町字中町南十五番地
稱名寺内 ちかい編集係

○○○○○○	郵便番号
住所	菩提寺（だんな寺）
氏名	感想・質問等

【締切】一月三十日 (消印有効)

クイズコーナー

ちかい
第133号

発行日 平成二十四年一月一日
発行所 総本山誓願寺

京都府中京区新京極桜之町四五三番地
電話（〇七五）二三二一〇九五八

FAX（〇七五）二三二一〇九一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp



何でも

お寺探偵団

西福寺

Vol.31



を結び、そこへ熱田正覚寺より
章久養玉上人が巡錫せられ宿泊
されました。



三浦学道師 (西福寺第28世)
1965年生まれ
(46歳)

師は結婚を機に一念発起し、仏門に入り
今年晋山されました。

今回は、西尾市（旧：幡豆
郡）吉良町の「北星山
宝幢院
西福寺」を訪ねました。

お寺の由来を
教えてください。

Q1

お寺の宝物は
なんですか？

Q2

土宗に改め、北斗星の因縁を以
て「北星山」、念佛を称え、西
方の福業を修する為「西福寺」
と名付けられたといいます。

Q3

「和顔愛語」です。私は仏門
に入り20年になります。この度、
晋山（住職に就任）させて頂き
ました。いつも和やかな笑顔と
思いやりのある話し方で、皆さんに親しみやすいお寺にしてい
きたいと思っています。

Q4

「ちかい」の読者に
何か頂けませんか？

お寺の由来を
教えてください。

Q1

西福寺は、建長6年
(1254) 最明寺入道北条時
頼公が諸国巡遊の折に創建され
ました。天台宗の大伽藍でした
が、兵火によつて焼失しました。
焼跡に道金沙弥という僧が草庵

平成元年に当寺の屋根裏の書
庫から「輪圓草」という書物が
発見されました。これは至徳3
年(1386)に講義された當
曼陀羅の注釈書で、その中に
「善人なお生まる、いわんや悪
人をや」という言葉が記録され
ています。この書物によつて、
わが西山深草派にも悪人正機説

が伝わつてゐたことがわかりま
した。つまり、教科書にも載つ
ている「悪人正機説」は、実は
法然上人がお説きになつていた、
ということがはつきりしたので
す。この発見は、当時NHKの
TV番組『歴史発見』でも紹介
され話題となりました。

また、明治の初め、神仏分離
に際して岡崎の伊賀八幡宮から
移築された鐘楼堂（県指定文化
財）、鎌倉時代の観音菩薩立像、
江戸時代の講義録『指定記先聞
録』40巻などがあります。

【交通】

名鉄西尾線「吉良吉田」駅下車
北へ 徒歩15分

【主な行事】

春彼岸会 春分の日
涅槃会 4月15日
盆施餓鬼 8月 9日
秋彼岸会 秋分の日
西山忌 11月下旬

【お問い合わせ】

西福寺
〒444-0516
愛知県西尾市吉良町吉田桐杭27
TEL 0563-32-0859



鐘楼堂（県指定文化財）



本堂



観音菩薩立像